

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	独語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical German		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	吉田 文子(学内連絡教官 坂本 真樹)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
f.yoshida@gold.ocn.ne.jp	

【主題および達成目標】
初級文法で習得した文法を使って、辞書を片手に一般的な文章が読めるようになること。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
ドイツ語1および2

【教科書等】
教科書：ドイツ人を知る9章、大谷弘道、三修社

【授業内容とその進め方】
<p>教科書は9課から構成されています。どの課もまとまった内容の短文がついています。これを訳していただきます。その際、そこに出てくる文法を説明します。練習問題で、これらの文法をさらに身に付けるための練習あるいは</p> <p>すこしづつ語彙を増やす練習などをします。訳は必ず予習をしてくること、ただし練習問題は授業中に一緒にやります。時には一部の問題をテストという形で提出していただくこともあります。</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

授業中に与えられた課題（翻訳の予習、小テストも含む）が約50%、残り50%は期末テスト

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって最低達成基準とします：

授業に6割以上出席すること。辞書を片手に教科書程度の文章が読めること。

【オフィスアワー：授業相談】

質問等は電子メールで受け付けます。

【学生へのメッセージ】

おそらく初級文法でやった細目は、すっかり頭から抜けていると思います。やる気があれば、忘れたことは一向にかまいません。文法では記憶することが多くて困ったことと思いますが、この授業では逆の視点から、例えば語尾変化した形から、文中での役割を類推する、あるいは定動詞の位置からその文章の構造を理解する、といったことをやります。その際に、記憶していなければ、なんでも見ていただいて結構です。文法表などをたえず見てやっていくうちにひとりで記憶でき、また理解できるようになるものです。やる気だけ（それと辞書も）を持って出席してください。

【その他】